

第4回アドバイザー・ボード会合の概要

「アドバイザー・ボード」の第4回会合の日時・出席者等については、以下に示すとおりである。

日 時：2006（平成18）年3月15日（水） 13時30分～15時30分

場 所：神戸大学六甲台本館3階大会議室

出席者：

アドバイザー・ボード委員（五十音順，敬称略）

岩田弘三，江崎勝久，太田敏郎，片山松造（委員長），寺井秀藏，土橋芳邦，
藤井俊一，栢田圭兒，三和正明

経営学研究科教員

桜井久勝，加護野忠男，石井淳藏，中野常男，正司健一，松尾博文
（今津清，河津利恵子）

第4回会合では、委員長である片山氏の挨拶ののち、研究科長（学部長）の桜井による司会のもと、次の報告と意見交換が行われた。第1は、前回のアドバイザー・ボードで議論された経営学研究科の改組計画を、2006（平成18）年度から実施することが文部科学省と大学本部によって承認され、学部夜間主コースの学生募集の停止と社会人MBAプログラムの学生定員の増員が実施されたことである。第2に、2005（平成17）年度の活動報告として、部局年次計画達成度報告書の特記事項を紹介する形で、経営学研究科の状況が説明され、これらについて質疑応答を行った。①業務運営の改善と効率化（改組，NPO法人の活用など），②財務内容の改善（運営費交付金，科学研究費，外部資金），③自己点検・評価と情報提供，④その他の業務運営の改善（シンポジウム，ワークショップ，海外協定大学，MBA論文賞など），⑤教育研究等の質の向上（COE中間評価結果，魅力ある大学院教育イニシアティブ補助金ほか），および⑥定員充足状況がそれである。第3に，MBA教育に関して，現行のカリキュラムと講義科目，プロジェクト方式での運営実態，海外研修プログラムの実施などが紹介され，これらにもとづいて意見交換が行われた。

なお閉会に際し，現委員は3年の任期で依頼したため今回の会合をもって任期満了となることを確認するとともに，これまでのアドバイザー・ボードの運営への支援に対して，研究科長から謝辞が述べられた。あわせて，2006（平成18）年度からは新研究科長（学部長）の正司のもとで，新メンバーによりアドバイザー・ボードを継続する計画であることが報告された。